

# 事業報告書

報告日付： 2025年7月4日  
事業名： 令和6年能登半島における地震・大雨被害からの復旧・復興  
団体名： 特定非営利活動法人ソシオの杜  
代表者名： 江頭 裕美  
TEL： 0952-55-1077  
事業完了日： 2025年 6月 30日

事業費総額：	1, 000, 000 円 (収支計算書に記載の決算額)
支援金額：	1, 000, 000 円 (事業実施のために使用した支援金の総額)
自己負担額：	0 円
支援金受入済額：	1, 000, 000 円
支援金返還見込額：	0 円

## 1. 事業内容

ソシオエステティシャン・ソシオセラピストが能登半島地震の被災地を訪れ、避難者・支援者に対して心とからだのケア（エステティック）を提供する。

日程：9月29日—10月3日（5日間）@能登町、輪島、珠洲市

11月18日—22日（5日間）@能登町、珠洲市

1月29日—2月2日（5日間）@七尾市

3月13日—16日（4日間）@七尾市

6月12日（6日間）@珠洲市、能登町

各日、避難所・仮設住宅・公民館・地域の方が集まるサロンを訪問し施術をする。

## 2. 事業評価

### 1) 事業目標の達成状況：

#### 【契約時の目標】

活動人数：15人（延べ人数）

仮設住宅・避難所・在宅訪問（ソシオエステティック提供）10か所

ソシオエステ提供回数：30回 総被施術者数 200名

#### 【目標の達成状況】

活動人数 16名（延べ人数）

訪問地 9か所

ソシオエステ提供回数（仮設住宅・避難所・在宅訪問等） 31か所

総施術者数 251名

### 2) 事業実施によって得られた成果：

震災が起きた直後は、「他のみんなも大変だから」と言われている方が多かった。活動を継続していく中で、ソシオエステティックの提供を通して、弱音や本音を吐露する姿もみられた。被災から時間も経過しており、震災を風化させることなく、県外のボランティアの私達との交流が現地の人の想いをつなぐきっかけになっている。

3) 成功したこととその要因 :

公民館等多くの方が集まる場所から、仮設住宅や個人宅など活動行程も幅広く、前回受けた方に薦められて参加してくださる方もいらっしゃる等、継続して活動をおこなってきたことで、現地での評判や認知度も上がってると感じる。セラピスト自身も回を重ねることで経験値も上がると、過去に施術した方から「待っていたよ」と声をかけてもらうことでやりがいを感じて活動できている。

4) 失敗したこととその要因 :

・支援するにあたり、『OPEN JAPAN』、『SIENSIEN WEST』、『珠洲支え合いセンター』に会場の手配や来てくれる方等のコーディネートをお願いしている状況のため、今後活動を継続していく中で、自分たちで一から企画することを課題と認識しています。

---